

行寛永

寛永文化講座

お申し込みは
こちら



「寛永行幸四百年祭」を応援したい！

基金で応援

京都文化交流コンベンションビューロー
「寛永 1626 基金」で
寄付を募集しています。

ふるさと納税で応援

京都府の
企業版ふるさと納税による
寄付を募集しています。

実行委員会では、寄付などを募集しています。
皆さんも歴史に参加しませんか。

詳細はこちら



連携・認定事業で参加

「寛永」をテーマにした独自事業や関連行事を
実施していただける企業・団体を募集しています。
お問合せ : info@kaneigyoko400.jp

主催 寛永行幸四百年祭実行委員会
(文化庁連携プラットフォーム内)
<https://kaneigyoko400.jp/>

共催 Living History KYOTO
Living History in 京都・二条城協議会



第8回

提供:京都市元離宮二条城事務所

二条城を建てた人びと

「二条城寛永改修時の諸建造物」

講師 井上 年和(京都美術工芸大学教授)

寛永行幸を前に大規模な改修が行われ、
多くの建物が造営された二条城。その全体像について紹介する。

井上 年和氏 プロフィール

京都美術工芸大学教授。京都大学大学院工学研究科修了。
一般財団法人建築研究協会研究員、京都美術工芸大学工芸学部准教授を経て現職。
京都景観賞建築部門優秀賞、日本建築学会教育賞(教育貢献)受賞。



中井正清
(長香寺藏)

「二条城の造営と大工頭中井家」

講師 谷 直樹(大阪市立大学名誉教授)

二条城の建物は大工頭の中井家が造営を担当した。
初代の中井正清は慶長度の創建建物を、2代の中井正
信は寛永度の大改修をそれぞれ指導した。今回は、中
井家伝来の「大工頭中井家関係資料」(重要文化財)
から見えてきた二条城の建物の歴史を紹介したい。

谷 直樹氏 プロフィール

大阪市立大学名誉教授。京都大学大学院工学研究科修了。京都大学工学博士。
専門は日本建築史、博物館学。著書に『中井家大工支配の研究』(思文閣出版、1992)、
『大工頭中井家建築指図集』(編著、思文閣出版、2003)など。建築史学会元会長。
大阪くらしの今昔館の設立に関わり、2001年の開館から20年間館長を務め、
中井家資料の保存修理に携わった。



寛永文化講座とは？

2026年は、寛永3年(1626年)に後水尾天皇が二条城に行幸されてから400年の節目の年です。寛永時代は能、狂言、茶の湯といった文化が隆盛し、市中にいくつもの“サロン”が形成されました。このサロンを舞台に文化が洗練され、多くの人々をひきつけ、現代へとつながることから「寛永は文化の故郷」といわれています。「寛永文化講座」は、この時代に花開いた文化の特質をさまざまなジャンルの専門家に語っていただき、多角的な視点から寛永文化の総合性や現代における意義を考えていこうというものです。

絵：「二条城行幸図屏風」部分 江戸時代(京都市指定文化財 泉屋博古館蔵)

最新情報は公式HP・SNSでチェック！



公式 HP



FACEBOOK



Instagram



X